

障害者スポーツ用の用具等の提供

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	3	100.0

指導者の紹介派遣

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	2	66.7
あてはまる	1	33.3
合計	3	100.0

介助者の紹介派遣

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	3	100.0

ボランティアの紹介派遣

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	3	100.0

プログラムの企画や実施への助言

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	3	100.0

その他6

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	2	66.7
あてはまる	1	33.3
合計	3	100.0

問3-4. 問3で「1. 障害者参加有り」と回答された方におたずねします。障害のある人を含めた活動をされてきたなかで、どのような成果がありましたか。

- 1 障害者として意識せず、全力にがんばっていられました。・又、たのしく、友好が深めていました。・楽しいスポーツや、ダンスなど、どんどん取り入れて力量をはっきしている。
- 2 みんなが受け入れる。受け入れられた人は、居心地がよくなる。
- 3 よろこんで参加してくれる。又、廻りの人も、なごんでくる。
- 4 仲間の思いやりや、気遣いが認められた。・障害者も懸命に努力し、健常者により刺激を与える。・障害者の体力、精神面への好影響が認められる。
- 5 家族への支援になっている
- 6 東スマイルクラブチャレンジランキングのイベント。障害のある子供が、チャレンジ(あきかんつみやなわとびなど)をしていてまわりのみんなが応援していました。障害をもった車イスの子供さんがあじさいロードレースの親子ペアに参加していただきました。(兵庫県交流事業 神戸総合型地域スポーツクラブ主催)学校・スポーツクラブの学習・スポーツを通じて、共生社会を育んでいると考えています。
- 7 ふうせんバレーで児童と高齢者が同じコートの中で、笑顔で交流できていて気持ちが良い。リラクゼーション 少しずつ進歩している子どもを見て、母親たちが喜んでいるのを見ると、参加者全員も嬉しくなり、お互いに良い結果を得ている。
- 8 皆さん仲良くされているし、時間も早く集合し非常に楽しそうです。
- 9 保護者のつながりが強くなった。年令等に関係なく、講習会や情報交換で楽しく交流できている。障がいを持つ子どもたちも長い時間を共にする事で仲間意識が生まれている。クラブ内では障がいをもつ子ども達に親しみをおぼえ、運営されているスタッフに敬意をはらっている。

問4. あなたのスポーツクラブでは、障害のある人の参加を促進するにはどのような条件が必要になると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で特に重要であると思う項目の番号 3 つを下記の解答欄に記入してください。

1. 運営委員の障害についての知識の獲得
2. 応援スタッフの配置
3. 指導スタッフの障害のある人を対象としたスポーツ指導の経験を増やす
4. 障害のない参加者の理解を得る
5. クラブ内の種目主催者の理解を得る
6. 障害のある人が家族で取り組めるようにする
7. 建物のバリアフリー化を推進する
8. ボランティアの確保
9. 補助金の交付
10. 障害者スポーツ指導者の派遣
11. 基本的なマニュアルの整備
12. その他 ()

特に重要であると思う (. .)

1 運営委員の障害についての知識の獲得

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	3	13.0
あてはまる	6	26.1
特に重要	14	60.9
合計	23	100.0

2 応援スタッフの配置

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	12	52.2
あてはまる	3	13.0
特に重要	8	34.8
合計	23	100.0

3 指導スタッフの障害のある人を対象としたスポーツ指導の経験を増やす

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	6	26.1
あてはまる	10	43.5
特に重要	7	30.4
合計	23	100.0

4 障害のない参加者の理解を得る

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	9	39.1
あてはまる	6	26.1
特に重要	8	34.8
合計	23	100.0

5 クラブ内の種目主催者の理解を得る

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	14	60.9
あてはまる	4	17.4
特に重要	5	21.7
合計	23	100.0

6 障害のある人が家族で取り組めるようにする

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	18	78.3
あてはまる	4	17.4
特に重要	1	4.3
合計	23	100.0

7 建物のバリアフリー化を推進する

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	15	65.2
あてはまる	3	13.0
特に重要	5	21.7
合計	23	100.0

8 ボランティアの確保

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	17	73.9
あてはまる	5	21.7
特に重要	1	4.3
合計	23	100.0

9 補助金の交付

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	17	73.9
あてはまる	4	17.4
特に重要	2	8.7
合計	23	100.0

10 障害者スポーツ指導者の派遣

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	12	52.2
あてはまる	4	17.4
特に重要	7	30.4
合計	23	100.0

1 1 基本的なマニュアルの整備

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	13	56.5
あてはまる	7	30.4
特に重要	3	13.0
合計	23	100.0

1 2 その他

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	20	87.0
あてはまる	2	8.7
特に重要	1	4.3
合計	23	100.0

問5. 障害のある人の参加に際してはどのような情報提供が必要だと思いますか。あてはまる項目を3つ選んで○をつけてください。

1. 特別支援学校や福祉関連施設へのパンフレットやチラシの配布
2. ホームページなどインターネットでの案内発信
3. 会員による口コミ
4. ケーブルテレビやラジオでの告知
5. 障害者スポーツ団体を通じた呼びかけ
6. 障害者スポーツ振興センターを通じた展開
7. その他 ()

1 特別支援学校や福祉関連施設へのパンフレットやチラシの配布

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	13	37.1
あてはまる	22	62.9
合計	35	100.0

2 ホームページなどインターネットでの案内発信

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	21	60.0
あてはまる	14	40.0
合計	35	100.0

3 会員による口コミ

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	18	51.4
あてはまる	17	48.6
合計	35	100.0

4 ケーブルテレビやラジオでの告知

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	35	100.0

5 障害者スポーツ団体を通じた呼びかけ

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	13	37.1
あてはまる	22	62.9
合計	35	100.0

6 障害者スポーツ振興センターを通じた展開

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	19	54.3
あてはまる	16	45.7
合計	35	100.0

7 その他

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	32	91.4
あてはまる	3	8.6
合計	35	100.0

- 障害者の保護者、家族とのコミュニケーション、連携。
- 学校広報
- ふれまち協等、各団体の協力を得て、地域全家庭にまず、チラシ、ポスター等で案内発信をして、一人でも多くの人々が会場に来て見学・参加してもらうこと。

すか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 指導者をクラブに派遣して行われる障害者スポーツプログラム（地域支援事業）
2. クラブのスタッフを対象とした障害のある人の受け入れ体制の整備
3. 障害者スポーツ導入のための講習会や研修会
4. クラブのイベントでの指導者の派遣
5. クラブのイベントでの用具の貸し出し
6. クラブ周辺の福祉関係施設や団体の紹介
7. その他（ ）

指導者をクラブに派遣して行われる障害者スポーツプログラム（地域支援事業）

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	16	45.7
あてはまる	19	54.3
合計	35	100.0

クラブのスタッフを対象とした障害のある人の受け入れ体制の整備

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	17	48.6
あてはまる	18	51.4
合計	35	100.0

3 会員による口 3 障害者スポーツ導入のための講習会や
研修会ミ

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	15	42.9
あてはまる	20	57.1
合計	35	100.0

4 クラブのイベントでの指導者の派遣

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	24	68.6
あてはまる	11	31.4
合計	35	100.0

5クラブのイベントでの用具の貸し出し

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	22	62.9
あてはまる	13	37.1
合計	35	100.0

6クラブ周辺の福祉関係施設や団体の紹介

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	26	74.3
あてはまる	9	25.7
合計	35	100.0

7その他

	度数	パーセント
有効数 あてはまらない	33	94.3
あてはまる	2	5.7
合計	35	100.0

➤ 運営費に対する援助

問7. あなたのクラブの指導者で、障害者スポーツ指導者資格（神戸市障害者スポーツリーダーを含む）を持っている人数をお答えください。

1. クラブ役員等（ ）人 監督・コーチ 概数（ ）人
2. 障害者スポーツ指導者資格を持つ人が所属しているスポーツ種目団体

記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準 偏差
役員等人数	21	.00	2.00	.1429	.47809
監督コーチ概数	22	.00	3.00	.2727	.76730
有効なケースの数（リストごと）	20				

- マラソン
- 風船バレーボール
- 把握していない。
- ボート

役員等人数

	度数	パーセント
有効数 .00	19	54.3
1.00	1	2.9
2.00	1	2.9
合計	21	60.0
欠損値 システム欠損値	14	40.0
合計	35	100.0

監督コーチ概数

	度数	パーセント
有効数 .00	19	54.3
1.00	1	2.9
2.00	1	2.9
3.00	1	2.9
合計	22	62.9
欠損値 システム欠損値	13	37.1
合計	35	100.0

問8. すべての方におたずねします。あなたのクラブの現状に関する以下の内容についてどの程度あてはまると思いますか。下記の1～13のすべての項目について、あてはまる番号に○をつけてください。（あなたの主観でご回答ください）

	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない
1. 役員の中には、障害者（児）に関する情報をもつ人がいる	3	2	1
2. 役割分担が細かく分けられている。	3	2	1
3. 役割分担が、会員の経験や知識をもとに決められるが、固定しないで適宜交代する。	3	2	1
4. 次の役員を長い目で育成しようとしている。	3	2	1
5. 行事や企画を行う場合は事前に必ず代表者に相談後承諾を得てから行動することが多い。	3	2	1
6. 細かいことでも最終的には代表者が決定してくれる。	3	2	1
7. どの用件は誰に相談・報告するかということが決まっている。	3	2	1
8. 代表者は他の役員と相談せずともスムーズなクラブ運営ができる。	3	2	1
9. 役員は各々、自分自身の役割分担がクラブ全体の中でどのような位置を占めているかを明確に知っている。	3	2	1
10. それぞれの役割の手続きについての簡単なマニュアルを持っている。	3	2	1
11. 役員やメンバーが守るべき規則がある。	3	2	1
12. 全員が代表者と役員の役割を把握して業務をこなしている。	3	2	1
13. 代表者は、任期満了後再任されるケースが多い。	3	2	1

グループ統計量

	問3障害のある人の参加経験	度数	平均値	標準偏差
役員の中には障害者（児）に関する情報をもつ人がいる	障害者参加有り	11	2.3636	.67420
	いいえ	21	1.8095	.81358
役割分担が細かく分けられている。	障害者参加有り	11	2.0000	.77460
	いいえ	20	2.0500	.75915
役割分担が会員の経験や知識をもとに決められるが固定しないで適宜交代する。	障害者参加有り	11	2.2727	.78625
	いいえ	22	2.0455	.78542
次の役員を長い目で育成しようとしている。	障害者参加有り	11	2.2727	.78625
	いいえ	22	2.0000	.81650
行事や企画を行う場合は事前に必ず代表者に相談後承諾を得てから行動することが多い。	障害者参加有り	11	2.5455	.82020
	いいえ	22	2.6364	.58109
細かいことでも最終的には代表者が決定してくれる。	障害者参加有り	11	2.4545	.82020
	いいえ	22	2.1818	.58849

どの用件は誰に相談・報告する かということが決まっている。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 5455 2. 6364	. 82020 . 58109
代表者は他の役員と相談せずともスムーズなクラブ運営ができる。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 2727 1. 9091	. 78625 . 61016
役員は各々自分自身の役割分担がクラブ全体の中でどのような位置を占めているかを明確に知っている。	障害者参加有り いいえ	10 22	2. 4000 2. 1818	. 96609 . 73266
それぞれの役割の手續きについての簡単なマニュアルを持っている。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 1818 1. 9545	. 87386 . 72225
役員やメンバーが守るべき規則がある。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 7273 2. 5455	. 64667 . 50965
全員が代表者と役員の役割を把握して業務をこなしている。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 2727 2. 2273	. 78625 . 68534
代表者は任期満了後再任されるケースが多い。	障害者参加有り いいえ	11 22	2. 5455 2. 6364	. 68755 . 65795

問9. すべての方におたずねします。どのようにして障害のある人を含めたスポーツクラブに関する活動を目指していますか。

- めざしていますが、指導者不足で、事故につながらないことを願い、共に活動出来るものをふくめて、しています。
喜んで到ける動きが活発にならないものです。守ることのマニュアルを持ちたいと思います
- 老人、子供が気楽にスポーツに楽しめる。
- 地域にスポーツをやりたい障害者の方がいるかどうかわからないので具体的に何を目標せば良いのかわからない。
- 特に考えていない。
- スポーツ面での参加は今迄なかったので、現実的に受入れ態勢は、考えられていない。
- 特に障害者を対象にクラブ加入運営していないが、たまたま、障害者の加入要請があれば受け入れ可否を吟味し、安全と安心が確保できる条件が揃えば、前向きに受け入れる（過去そうして来た）
- 誰もが参加できるスポーツクラブでありたいと思っていますが現在まで障害のある方の参加はありません。ご本人がダメと思っていらっしゃるのかもしれませんが。ですので運営（活動）する側として考えた事はありません。参加したいと連絡があった時に会長はじめ役員等と相談になると思います
- よくわからない。私1人の希望では決められない。色々な事をクリアしていかなければいけないのでたくさんの同意協力が必要
- 障害者が楽しめる遊びの種類を増やす。
- 障害の程度に応じた活動

- 11 現在申込者もなく、設備も何もありません。教室開放事業の囲碁教室には1名車椅子にて参加される方がおられます。
- 12 共に生きる社会を目指す。
- 13 現時点では何もしていない。
- 14 各種の行事を行っておりますが、申し出る方がおられないので現状ではわからない。(広報で募集しているが…)
☆夏まつり等においては座席を設けたり配慮していますが、ほとんど障害者の方は見かけません。
- 15 障害があってもスポーツクラブに加入してスポーツをしたいという子供さんがいたら入って活動してもらいます。
そして、受け入れ体制の整備と、役員・指導者の講習会や研修会に参加して、知識向上を目指していきます。
- 16 年1回でもイベントを通じて障害のある方と交流をもち続けたいと思っている。
- 17 「来るものは、こばまず」の精神でしています。今あるスポーツを楽しんでもらうなら、いつでもOKです。が、過去に申し込まれた方がいません。
- 18 特別扱いせずに運営している。
- 19 地域住民との情報交換をしながら、当スポーツクラブに障害のある人にも楽しめる物があるのを広くPRし、見学や参加を促して、誰でも、気軽にスポーツが楽しめるようにしたい。
- 20 現在、クラブ内及び身近に障害者がいないので、ピンと来ないが、「生涯スポーツ」できるクラブにしたい。
- 21 今まで考えたこともなく、意見も上がらなかった。今後も分らない
- 22 障がい者を含む団体の加入のあるクラブとして会員の理解や交流を深めていきたい。広報活動等積極的に支援したい。

問 10 クラブの会員数と予算

問障害のある人の参加経験		N	平均値	標準偏差
会員数	参加有	8	293.75	209.07
	参加なし	20	227.80	250.53
年間予算	参加有	9	841111.11	955113.79
	参加なし	15	308360.00	400159.93

総合型地域スポーツクラブを対象とした調査

- 調査方法：調査票は、文部科学省「総合型地域スポーツクラブの障害者スポーツ振興に関する調査」報告書（2013）、「総合型地域スポーツクラブにおける障害者スポーツ・レクリエーションの実態調査」平成24年度文部科学省「健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業」（2013）を参考に作成した。
- 対象165ヶ所、回答は35か所、回収率が21.1%とやや少ない傾向にあるが、市内各区全てから回答があった。回答クラブの31.4%にあたる11クラブが障害者の参加があった。文部科学省の調査報告が約4割となっていたため、やや低い傾向にある。
- 実施種目については、障害者が参加しているクラブの種目数の平均値が7に対して、参加が無いクラブの平均値が5であった。

また、障害者参加クラブにおいて、50%以上の障害者参加があった種目は、野球、サッカー、バレーボール、バドミントン、体操・ダンス、グランドゴルフ、卓球等であった。障害者スポーツであるボッチャや風船バレーは、実施しているクラブが少ない。これら種目は、障害者参加を導くための普及の余地がある。

- 障害者が参加するクラブの規約には、参加が無いクラブと比較して、「誰でも/誰もが/すべての人」と記載されているクラブが多い。
- 障害者のクラブへの参加は、障害のある人のための種目やレクリエーションの機会、障害の有無にかかわらず一緒に参加できる機会、一般の種目での参加の機会が多く、障害者のためのイベントなどは少ない。
- クラブに参加している人の障害の種類は、知的・発達障害が多く、肢体不自由、聴覚障害、視覚障害がある。内部障害や精神障害は少ない。障害のある子どもを中心とした取り組みが多い様子である。
- 障害者の会費は、割引なしが半数である。クラブ自体がすべての会員に対して、会費徴収を行っていない場合がある。運営経費については、障害者がメンバーであったとしても「高い」との回答は皆無であった。
- 障害者の参加に際しては、他の組織から支援を受けたり、連携したりしているクラブが3クラブあった。連携先は、行政、障害者スポーツ関係団体であった。その内容は、資金援助・助成、施設使用料の減免、指導者の紹介派遣である。
- 障害者が参加しているクラブでは、障害者と健常者の相互交流に最も成果を感じている。
- 障害者の参加促進要因では、運営委員の障害についての知識の獲得や、現状の指導スタッフに対する障害者スポーツ指導経験を増やすことが有効であると考えられている。また、障害のない人への理解を得ることも重要であると考えられている。
- 障害者の参加を導くための、除法提供先としては、特別支援学校や福祉関連施設や障害者スポーツ団体を通じた呼びかけが有効であると考えられている。障害者個人よりは、所属先を通してのアプローチが有効である。
- 障害者を受け入れるためには、指導者の派遣やクラブスタッフへの講習会、研修会が必要であると考えられている。既存の役員や指導者に対して、勉強の機会を設けることが有効である。
- 役員や監督コーチで障害者スポーツ指導者資格を有する人は、5名程度存在している。
- 役員の中に障害者に関する情報を持つ人がいる場合、組織の役割分担があまり固定しないが、代表者のリーダーシップが高いクラブが、障害者を受け入れているように思える。リーダーが安定

した組織を作っているクラブは障害者を受け入れることができる。

- ▶ クラブ側は、障害者も参加したスポーツクラブを構築したいとは思っていても、リスクマネジメントをはじめとした、障害者スポーツに関する情報経験の不足から、実践に移せないでいる。また、障害者スポーツの潜在需要を引き出すというよりは、自発的な参加を待っている傾向にある。
- ▶ 会員数や年間予算が多いクラブほど、障害者の受け入れが可能である。

神戸市スポーツ推進委員の皆様へ

地域型障害者スポーツのあり方検討会調査部会

神戸市保健福祉局障害福祉部障害福祉課長	今西 敏男
神戸市教育委員会事務局社会教育部スポーツ体育課長	中村 俊彦
社会福祉法人神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター長	片岡 和子
公益財団法人神戸市スポーツ教育協会スポーツイベント係長	敦賀 孝一

アンケートへのご協力をお願い

神戸市スポーツ推進委員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃よりスポーツを通じて神戸市民の健やかな暮らしにご尽力いただき、ありがとうございます。

このたび、平成 25 年度において、神戸市と社会福祉法人神戸市社会福祉協議会では、厚生労働省の指定研究事業として「地域型障害者スポーツのあり方検討会」を立ち上げ、障害者関係機関、団体、神戸市教育委員会等とともに、地域の中で地域の皆さんに支えられながら、障害のある人がスポーツに親しめるようになるにはどうしたらよいかを研究しています。

そのために、今、地域でスポーツ活動の振興を担っておられる皆様にアンケートをお送りして、日頃の活動状況や障害者スポーツに関するお考えをお聞かせいただきたいと思います。

お忙しい中、まことに申し訳ありませんが、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 26 年 2 月 吉日

❀ 地域型障害者スポーツのあり方検討会 ❀ (敬称略)

座 長 神戸女学院大学 教授 金山 千広
副座長 兵庫県立大学 准教授 伊藤 克広
委 員 社会福祉法人神戸市身体障害者団体連合会 会長 池内 正
神戸市手をつなぐ育成会 会長 後藤 久美子
兵庫県立総合リハビリテーションセンター所長 吉田 裕明
神戸市教育委員会事務局社会教育部長 東野 展也
同 指導部長 竹下 正明
公益財団法人神戸市スポーツ教育協会常務理事 碓氷 信幸
神戸市保健福祉局障害福祉部長 衣川 彰
社会福祉法人神戸市社会福祉協議会事務局長 木原 勇

❀ 地域型障害者スポーツのあり方検討会 調査部会 ❀ (敬称略)

神戸市保健福祉局障害福祉部障害福祉課長	今西 敏男
同 管理係長	小川 智也
神戸市教育委員会事務局社会教育部スポーツ体育課長	中村 俊彦
同 市民スポーツ係長	安井 功
同 指導主事	荒川 慎一郎
同 指導主事	赤木 裕之
神戸市スポーツ教育協会スポーツイベント係長	敦賀 孝一
神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター長	片岡 和子
同 指導員	大久保 正樹

神戸市スポーツ推進委員の皆様へ

地域型障害者スポーツのあり方検討会
座長 金山 千広 (神戸女学院大学教授)

2011年に障害者スポーツの推進を唱えた「スポーツ基本法」が施行され、2012年には、全ての人がスポーツに参画することができる環境の整備を明記した「スポーツ基本計画」が成立しました。今、わが国の障害者スポーツ界は、競技スポーツの担い手が厚生労働省から文部科学省に移行されたり、スポーツ庁設立に向けての動きが加速したりと、転換期をむかえています。(公財)日本障害者スポーツ協会が発表した「日本の障がい者の将来像(ビジョン)」に掲げられている障害者スポーツの振興体制の整備や障害者スポーツの普及・振興を実現するためにも、地域での当事者ニーズに合ったスポーツプログラムや指導は非常に重要になってきています。

このような障害者スポーツを囲む環境の変化を背景に、全ての人の生涯スポーツ社会の実現を、非常勤行政職という立場から実質的に牽引している、スポーツ推進委員への期待が高まっています。

この度の調査は、福祉と教育の双方の観点から、神戸市内における障害者スポーツの現状を把握することを目的とした、国内の政令都市では最先端の取り組みであります。またそれは、地域に居住する障害のある人のスポーツ振興について、スポーツ推進委員の皆様のお考えを伺う大切な機会であると思います。調査を通しては、神戸市内において、障害のある人を含めた地域スポーツ活動が、よりいっそう活性化するためのきっかけ作りになれるよう、期待をしております。ぜひご協力をお願い申し上げます。

神戸市地域型障害者スポーツのあり方に関する意識調査結果

(神戸市スポーツ推進委員)

I 回答された方ご本人についてうかがいます。

性別

	度数	パーセント
男性	39	40.6
女性	57	59.4
合計	96	100.0

区

	度数	パーセント
有効数 東灘区	8	8.3
灘区	11	11.5
中央区	8	8.3
兵庫区	11	11.5
北区	15	15.6
長田区	4	4.2
須磨区	9	9.4
垂水区	14	14.6
西区	15	15.6
合計	95	99.0
欠損値 システム欠損値	1	1.0
合計	96	100.0

スポーツ推進委員（含む体育指導員）の勤続年数（延べ）

	度数	パーセント
有効数 1-2年	11	11.5
3-5年	14	14.6
6-10年	28	29.2
11-15年	12	12.5
16-20年	9	9.4
21-25年	11	11.5
26-30年	8	8.3
30年以上	1	1.0
合計	94	97.9
欠損値 システム欠損値	2	2.1
合計	96	100.0

あなたの職業

1. 専業主婦 2. 会社員 3. 公務員 4. 団体職員 5. 自営業
6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他 ()

	度数	パーセント
有効数 専業主婦	23	24.0
会社員	19	19.8
公務員	4	4.2
自営業	18	18.8
パート・アルバイト	22	22.9
無職	5	5.2
その他	4	4.2
合計	95	99.0
欠損値 システム欠損値	1	1.0
合計	96	100.0

スポーツ関係の資格について（複数回答可）※No. 1～8 は日本体育協会の認定資格

1. スポーツリーダー 2. スポーツ指導員 3. 上級指導員 4. スポーツコーチ
5. 上級コーチ 6. ジュニアスポーツ指導員 7. アシスタントマネージャー
8. クラブマネージャー 9. 障害者スポーツ指導員（障害者スポーツ協会の認定資格）
10. 障害者スポーツリーダー（神戸市登録） 11. その他 ()

上級指導員

	度数	パーセント
あてはまらない	92	95.8
あてはまる	4	4.2
合計	96	100.0

スポーツコーチ

	度数	パーセント
あてはまらない	90	93.8
あてはまる	6	6.3
合計	96	100.0

上級コーチ

	度数	パーセント
あてはまらない	96	100.0

ジュニアスポーツ指導員

	度数	パーセント
あてはまらない	91	94.8
あてはまる	5	5.2
合計	96	100.0